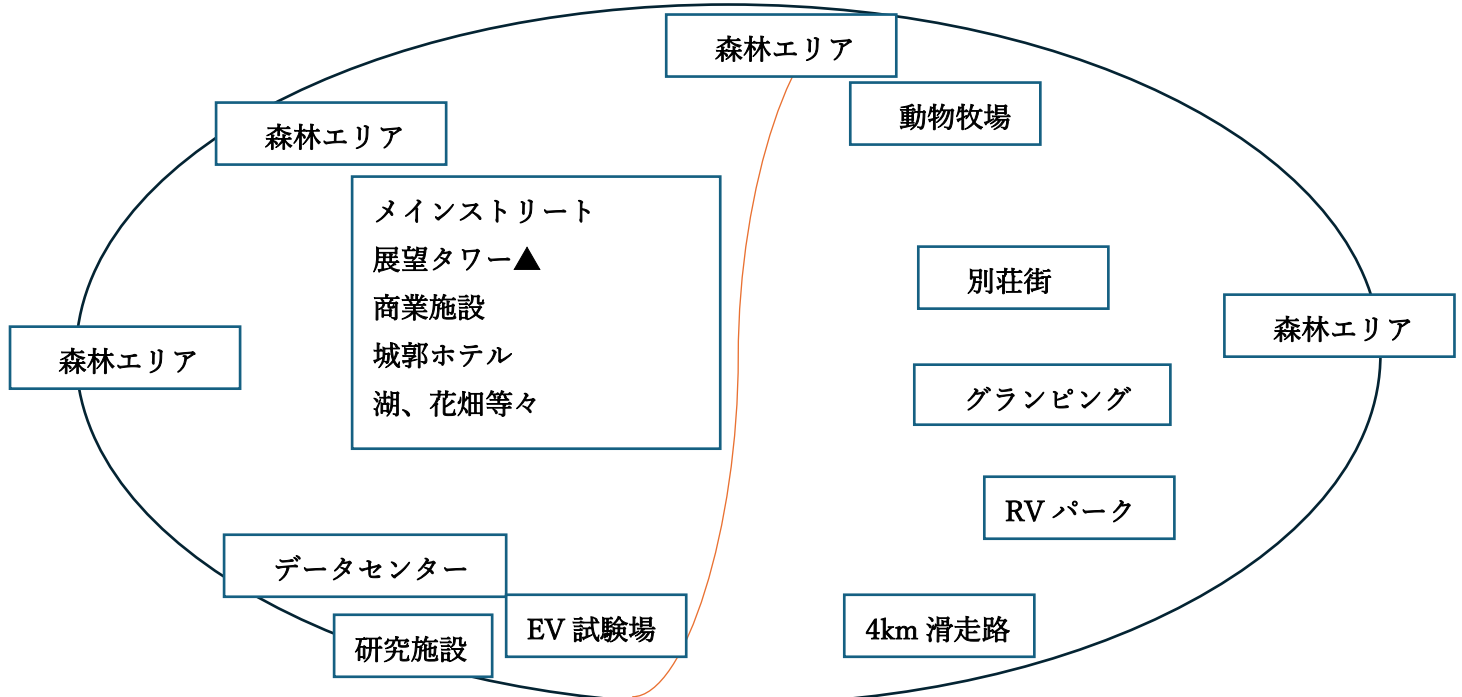


浜頓別ドリームリゾート構想（案）

2026.6.18



中央部にシンボル施設を配置します。



① 北方雪城リゾート

野宮様が構想されている「北方の雪城」を中心に据える。

- 延床 1,000 m²級
- 雪景色の天守閣
- 武士道体験館
- 茶室
- 日本庭園
- ヘリポート



② 世界最大級のプライベート別荘街

条件は「玄関を出て 360 度他人の建物が見えない」を設定。

- 10 万坪区画
- 20 万坪区画

- 50 万坪区画

③ 北海道サファリパーク

サファリパーク

- エゾシカ
- 馬
- アルパカ

- バイソン
- オオワシ観察



④ 四季の花畑

春：桜

夏：ラベンダー

秋：紅葉

冬：雪祭り

⑤ 国際空港連携

- 稚内空港から約 1 時間
- 4km 直線道路活用
- 小型ジェット対応検討

⑥ AI・データセンター

浜頓別の土地の最大の武器は「冷涼な気候」と「豊富な水」です。

世界的に見ると、

- データセンター
- AI 研究施設

- 半導体実証施設

との複合開発が非常に有望です。

投資規模イメージ

第 1 期

- 城郭ホテル
- 温泉施設

- グランピング

約 100～200 億円

第 2 期

- テーマパーク
- 商業施設

約 300～500 億円

第 3 期

- AI データセンター
- 国際別荘街

約 500 億～1,000 億円

総事業費、約 1,000～2,000 億円規模も視野に入ります。

浜頓別の 110 万坪は、単なる土地ではなく、「北海道版ディズニーランド＋ニセコ＋データセンター＋超富裕層別荘地」という複合リゾートを描けるだけの規模があります。



浜頓別 110 万坪を「道北のトマム」として考えた場合、現在の構想図（雪城・高級別荘・ヘリポート・温泉・サファリ・グランピング・滑走路・AI データセンター）をベースにすると、事業規模はかなり大きくなります。

参考までに、Hoshino Resorts が運営するトマムは約 1,000ha（約 300 万坪）規模で、ホテル、

スキー場、レストラン、プールなどを備えた北海道有数のリゾートです。

第 1 期（現実的なスタート）

内容

- 雪城ホテル
- 温泉スパ
- グランピング
- ヘリポート
- 高級別荘 20～30 区画

建設費

項目	概算
雪城ホテル	50～80 億円
温泉施設	20～30 億円
別荘インフラ	20～40 億円
ヘリポート	3～5 億円
道路・上下水道	20～50 億円

雇用

- 開業後 80~150 人



内容

- 建設費：約 300～600 億円

- 建設期間 500～1,000 人

- 運営 300~500 人

内容

- 国際会議場
- 超富裕層向けヴィラ

雇用

- 運営 500~1,000 人

浜頓別町の人口は約 3,000

人の観光客を呼べれば、

- ホテル
- 飲食店
- 建設業
- 清掃
- 警備
- 交通
- 農業
- 漁業



に波及します。観光産業は一般的に直接雇用だけでなく、地域全体に経済波及効果を生むことが知られています。



「110万坪を最初からディズニーランド級にする必要はありません。」まずは

① 雪城ホテル

④ ヘリポート

② 温泉スパ

この4つだけで十分です。

③ 超高級別荘 20 区画

投資額は約 150 億円前後。成功すれば、第 2 期で別荘 100 区画、第 3 期でデータセンター、第 4 期でテーマパークへの拡張できます。特に浜頓別の土地の場合、「玄関を出て 360 度他人の建物が見えない別荘地」これはニセコにもトマムにもほとんどありません。

さらに

- 夏は 25℃以下
- 豊富な水
- オホーツク海

- 利尻富士の眺望
- ヘリポート
- プライベートジェット対応

を組み合わせれば、「日本版イエローストーン+トマム+超富裕層ヴィラ」という独自のブランドが作れる可能性があります。

以上は AI による計画案とシミュレーションによるものですが世界の超富豪や投資家にかかるかなりの具体化、実現性が見込めます。10 年経っても観光立国、ジパングの立ち位置はますます顕著となることも AI は認めています。先に 110 万坪の土地の取得だけは急ぐ必要があります。